

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	高次脳機能障害Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 火2木3金1	教室名	第4校舎301
担 当 教 員	丸山 めぐみ	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
高次脳機能障害を理解し適切な評価・診断を行い、評価に基づいた有効なリハビリテーションを考える。						
《成績評価の方法と基準》						
本試験(筆記)において、得点60%以上を合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書 :①標準言語聴覚学 高次脳機能障害学(白テキスト) 参考図書:②言語聴覚療法臨床マニュアル(マニュアル),③高次脳機能障害マエストロシリーズ(マエストロ)						
《授業外における学習方法》						
予習・復習ともに①の該当箇所をよく読む。①の章末のKey Pointのまとめを通して復習する。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習を想定し、自ら考えながら授業に参加してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	CATを実施できる。	検査マニュアル、 記録用紙	検査の目的、内容、 実施手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	CATの実施、採点			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	CATを実施できる。	検査マニュアル、 記録用紙	検査の目的、内容、 実施手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	CATの実施、採点			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の定義を述べることができる。原因疾患を列挙できる。	① 配布資料、 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	認知症の定義、症状、原因疾患とその特徴について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の原因疾患のそれぞれの特徴を説明することができる。	① 配布資料、 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	認知症の原因疾患とその特徴について1			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	認知症の原因疾患のそれぞれの特徴を説明することができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。	
		各コマにおける授業予定	認知症の原因疾患とその特徴について2			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症のコミュニケーション障害の特徴を挙げることができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	認知症で呈するコミュニケーションの問題について		
第7回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	認知症の症状から適切な評価方法を選択し、行うことができる。	配布資料 パソコン プロジェクター	検査の目的、内容、実施手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	認知症の評価の概観、認知症スクリーニング検査の実施		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	WAIS-IIIを実施することができる。	検査マニュアル、 記録用紙	検査の目的、内容、実施手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	WAIS-IIIの内容と手順		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	WAIS-IIIをを実施することができる。	検査マニュアル、 記録用紙	検査の目的、内容、実施手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	WAIS-IIIの内容と手順		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの内容を理解し、アウトプットできる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	テストの復習
		各コマにおける授業予定	中間テストと解説		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の症状に基づいたリハビリテーションを説明することができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	認知症のケア・リハビリテーションの方法について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な失算症状を挙げることができる。 失算に至る高次脳機能障害を関連づけることができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	失算の定義、評価、リハビリテーション		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳梁離断症状の発現メカニズムを理解することができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	脳梁離断症状の定義、症状とその発現メカニズム、評価		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷の病態、高次脳機能障害について説明することができる。	① 配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	頭部外傷および、引き起こされる高次脳機能障害について		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	右半球損傷後のコミュニケーション障害の特徴を述べるができる。	配布資料 パソコン プロジェクター	①の該当箇所をよく読む。
		各コマにおける授業予定	右半球損傷後に生じるコミュニケーション障害について		